

お知らせとお願い

交流センター大掃除 ありがとうございました

12月11日(日)寒い中、また師走のお忙しい中、運営協議会の皆様に交流センターの大掃除を窓拭きを中心にしていただきました。おかげさまで、窓もピカピカになり気持ちよく新年が迎えられます。大変お世話になりました。



島根県ドクターヘリ臨時離着陸場について

このたび、島根県ドクターヘリ臨時離着陸場として、宇波交流センターグラウンドが追加登録されました。緊急時には、グラウンドにドクターヘリが離着陸する場合がありますのでご承知おきください。



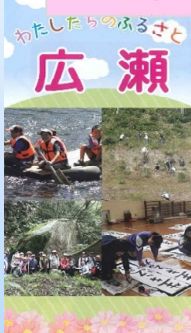
備品購入について

今年度、安来市元気いきき補助金で、以下のものを購入しました。ご利用下さい。

- タープテント
- バーミックス(ミキサー)
- 糖度計
- 食品乾燥機



わたしたちのふるさと 広瀬



このたび、広瀬町内の交流センターで『わたしたちのふるさと広瀬』というパンフレットを作成しました。宇波ならではの良さを紹介しています。各戸1部ずつ配付いたしますので、ご覧下さい。

小型除雪機の貸出しについて

小型除雪機の貸出しができます。貸し出し対象は、自治会、自主防災組織、無償ボランティア団体で、自力で除雪を行うことが困難な高齢者世帯及び障がい者世帯の除雪に使用できます。申込み、お問い合わせは宇波交流センターまで。

ゴミの分別について

平素はゴミの分別・搬出にご協力いただきありがとうございます。

最近、分別不足で回収してもらえないものが見受けられます。記名があるものは連絡できますが、無記名のものは再度こちらで分別し直すしかありません。どうか今一度分別方法をご確認いただき、ご協力いただきますようお願い致します。

- 燃えるごみ以外は必ず記名してください。
- 新聞・雑誌・段ボールは、紙ひもでしばり、記名して下さい。
- アルミ缶は元一畑バス車庫に出して下さい。

* 分別の手引きをご入用の方は、交流センターにありますのでお申し出下さい。

ナイロンひもでしばってある新聞・雑誌が引き取ってもらえずに残っています。必ず紙ひもをお願いします。

12/27と1/10のヤ
スクール・キャロルはお
休みします

12/29～1/5 交流
センターは休館します



宇波交流センターだより

平成28年12月18日発行(No.201610)〈編集・発行〉宇波交流センター
〒692-0622 安来市広瀬町宇波482-2TEL(兼fax):0854-36-0852
Mail:unami.cs@city.yasugi.shimane.jp



今年一年を振り返って・・・

平成28年を振り返ってまず最も感ずることは、交流センター事業が増えて交流センターにとっても実に有意義で充実した一年であり、私にとっても多忙でありましたが、嬉しい事の多い一年でした。

今年度から加藤さんや細田主事さんのアイデアで日曜解放日を設け、それに併せて今までになかった多種多様な子供や大人が参加できる行事が多くなった事や、地域外からたくさんの子供たちを迎えて宇波で自然体験をしてもらい、宇波の良さがアピールできたのと、宇波で子供たちの声が聞こえて地域の皆さんにも喜んでいただけたと思います。

自治会輸送も創生プロジェクトの皆さんを始め、ボランティアドライバーさんのご協力により事故なく本格運行から、約一年を迎えようとしています。この取り組みに関心がある地区が安来市の中でもあるようですし、先日は大田市から講演の依頼を受けまして、山崎課長と加藤さんと私で行かせて頂きました。

また、出張美容室キャロルさんが営業されたことにより、広瀬まで出なくても短時間でカットが出来、利用者の方に大変喜んでいただいております。

さらに、今年は文化祭に飯南神楽団を迎えたことで、運営協議会の皆様を始め、自治会の皆様、うなみ宇楽会の皆様に絶大なるご協力をいただき、大成功に終わったことに大変感謝申し上げます。

また、今年度地域の将来像を描く取り組みをしていますが、じっくりとみなさんのご意見を伺いながら進めて行こうと思っていますので今後ともよろしくお願い致します。

最後になりましたが、地域のみなさんのご協力によりまして無事に今年の事業を終えることが出来ましたことに厚く御礼申し上げます。来年もさらに全力で努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

そして、来る平成29年が皆様にとりまして良い年になりますよう御祈念申し上げます。

館長 遠藤春二

宇波地区 年賀会のお知らせ

平成29年の新しい年を迎えるにあたり年賀会を開催いたします。新しい年のスタートをできるだけ多くの方々と祝いたいと思います。年齢、性別、役職の有無などにとらわれず、お気軽にご参加くださいますよう、ご案内いたします。軽装でお出かけ下さい。

□日時 平成29年1月1日 午前10時～

□会場 宇波交流センター2階大会議室

□祝杯・福引もあります



めざせ！宇波の特産品！

ゆずジャム作り 11/27(日)

《ゆずの里宇波》

宇波産のゆずを使ってジャムを作りました。島根大学の武田先生に教えていただきながら、12名の参加者とともに楽しく作ることが出来ました。今後、宇波の特産品として”ゆずジャム”の販売ができればいいですね・・・



講師は武田久男氏
ご夫妻でしたm(_ _)m
出雲弁がお上手で、
とっても楽しい先生でした！



加藤さんには、集落支援員さんとして
昨年9月から宇波交流センターに来て
いただいております。

今回企画したゆずジャム作りやブルー
ベリーの栽培など宇波をより元気にする
ために日々ご尽力いただいております。

また、奥様の知恵子さんには、ヤスク
ルなどのお茶会に手づくりのお菓子な
どを頂いております。本当にありがと
うございます。

昨年9月から宇波交流センターに勤務させていただき、地域の皆様と顔なじみとなり早くも1年が経過しました。宇波の自治会輸送の定着は5年後、10年後を見据えた活動であり、「ふくろう号」のドライバーの皆様、車庫建設とボランティアとして活躍される姿は地域の共助の意識が強く感じられ感心しているところです。また、これからの宇波の将来のあり方ビジョン作成が計画されています。他地域から注目されている宇波です。

この一年皆様の声を聴き月2回の日曜の施設開放を行い、いろいろな企画事業と一緒に計画、参加協力いただき来館者も倍増している状況下にあります。「ゆずの里うなみ」柚子ジャム作りを計画し補助金申請を行い「糖度計・パーミックス・野菜乾燥機」を購入し講師を招きジャム作りを行い大変好評をいただきました。地域にはまだ眠っている農産物がたくさんあります。交流センターにお出かけいただき、サロン、交流の場として情報を皆様と共有し活気ある生きがいのある宇波を作る計画をしています。

また、宇波の鑄物文化が忘れ去られようとしている今を後世に引き継ぐためにも、来年度は近隣の町に出かけ現存する作品を見学し、当時産業として栄えた宇波の鑄物文化を郷土の誇りとして訪ねてみませんか。

土の人は地元から、風の人は外から、一緒になって自分を楽し
く！宇波をおもしろく！ しませんか。 加藤 喬

冬の危険

～気をつけていますか？安全な冬の入浴法～

きけん！

入浴は、身体を清潔に保つだけでなくリラックス効果も期待できる重要な生活習慣の一つです。一方、入浴する際の身体状況や入浴の環境によっては、意識障害を起こし溺水する重大な事故につながる危険性があります。安全に入浴する為に次の点に注意しましょう。

①入浴前に脱衣所や浴室を暖めましょう。

温度の急激な変化で血圧が上下に大きく変動することで失神し、浴室内で溺れるケースがあります。

②湯温は41度以下、湯につかる時間は10分までを目安に

のぼせてぼうっとするなどの意識障害が起こると、やがて体温は湯の温度まで上昇し、熱中症になる可能性があります。

③浴槽から急に立ち上がらない。

入浴中には湯で体に水圧がかかっています。その状態から急に立ち上がると体にかかっていた水圧がなくなり、圧迫されていた血管は一気に拡張し、脳にいく血液が減り、脳は貧血状態になり、一過性の意識障害を起こすことになります。

④アルコールが抜けるまで、また、食後すぐの入浴は控える。

⑤入浴する前に同居者に一声かけて、見回ってもらう。

